

# 高知県における通信インフラの状況について

2023年9月  
高知県

# 高知県デジタル化推進計画の概要

令和2年度:デジタル化が急速に進行する中、行政のデジタル化を図るため、「行政サービスデジタル化推進計画」がスタート。  
 令和3年度:さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、デジタル化が加速度的に進む中、行政のみならず、生活・産業にもウイングを拡げ、より総合的な計画とするため、「デジタル化推進計画」としてバージョンアップ。  
 令和4年度:デジタル社会の実現に向けて、県民の皆様理解いただくため、生活・産業・行政の3つの切り口で、目指す社会像や将来イメージを示し、その実現に向けた取り組みを強化。  
 令和5年度:「デジタルの恩恵により、暮らしや働き方が一変する社会」の実現に向け、各分野の施策をバージョンアップ。

バージョンアップのポイント(R5)

**生活** 中山間地域の課題解決に向けたデジタル実装のさらなる推進！

**産業** 各産業分野におけるデジタル技術を活用した構造転換の推進！

**行政** 県庁ワークスタイルの変革と市町村支援の強化！

## 目指す社会像・将来イメージ

## 主な取り組み



**デジタルの恩恵により、暮らしや働き方が一変する社会**

**行政**  
スマートフォンひとつで行政手続が完結

- 1 生活・中山間地域の抱える課題への対応**
- オンライン診療・オンライン服薬指導の実施
  - 遠隔授業等の配信校の拡大
  - 移動手段や物資の輸送手段の確立 など



- 2 産業・生産性の向上による産業振興**
- Next次世代施設園芸の推進
  - スマート林業の推進
  - 高知マリンイノベーションの推進 など



- 3 行政・県民サービスの向上、行政事務の効率化**
- 行政手続のオンライン化
  - ORPAによる行政事務の自動化 など



**(デジタル実装の基礎条件整備)**

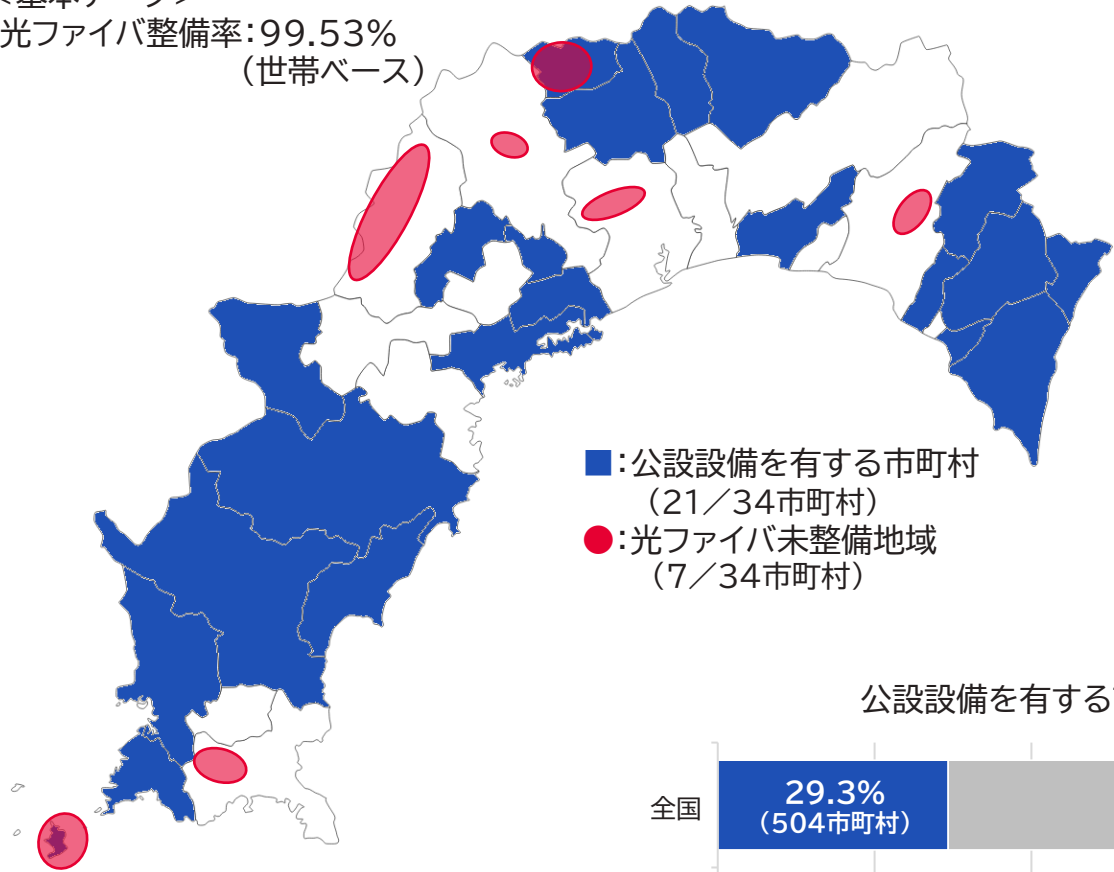
- ▶デジタルデバйд対策の実施(スマサポ養成等)
- ▶デジタルインフラの整備(光ファイバーの整備等)
- ▶マイナンバーカードの普及・活用

※ 県民の誰もが、デジタル技術を難しく捉えずとも、最大限利用して、豊かさを楽しむ社会を理想としています。

# 高知県の通信インフラ整備の状況

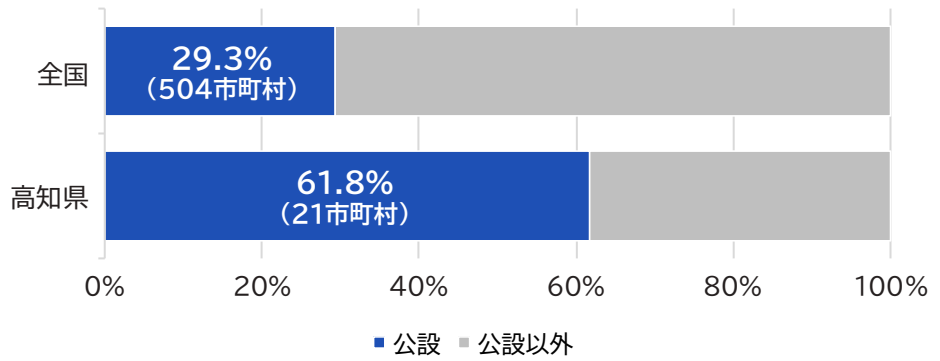
<基本データ>

・光ファイバ整備率:99.53%  
(世帯ベース)



- 中山間地域が多く、公設により整備した市町村が大半である
- 公設で整備した光ファイバの更新には、多額の費用を要し、財政基盤の脆弱な小規模自治体の負担となっている
- 未整備地域の解消はもちろんのこと、すでに整備された光ファイバを安定的に維持していくことも重要

公設設備を有する市町村の割合



- 本県のような公設設備を抱える中山間地域では、採算面の問題から民間移行が困難であり、将来的に事業を継続できなくなる可能性がある
- そのため、電力やガスなどのインフラと同様に、光ファイバにおいても最終保障供給を担う(ラストリゾート)事業者が必要
- 本委員会では、ラストリゾートの責務をNTT法に位置づけるべきとの議論も見受けられる。こうした責務については、光ファイバについて7割超の全国シェアを有するNTT東西でなければ、担うことが難しい
  - ⇒ 本委員会において、責務の在り方を明確化し、制度化に向けてご尽力いただきたい  
なお、規律の廃止と新設を一体的に進めることで、責務の制度的な継続を担保することに留意していただきたい